

Pioneer

REMIX STATION

RMX-1000

ご相談窓口・修理窓口のご案内

お取り扱いにお困りのとき、本書の巻末をご覧ください。

<http://pioneerdj.com/support/>

上記の弊社ホームページでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、より快適に製品をお使いいただくための各種情報やサービスを提供しております。

取扱説明書

もくじ

本書の見かた

本書では、製品本体に表示されているチャンネル名、ボタン名、およびソフトウェア上のメニュー名などを、[] で囲んで記載しています。(例: [MASTER] チャンネル、[ON/OFF]、[File] メニュー)

01 安全上のご注意

警告	3
注意	4
設置場所について	4
製品のお手入れについて	4

02 クイックスタートガイド

本機の特長	6
手順の流れ	6
付属品を確認する	6
入力 / 出力端子に接続する	7
エフェクトを使うための準備をする	9
SCENE FX を使う	9
ISOLATE FX を使う	9
X-PAD FX を使う	9
RELEASE FX を使う	9

03 操作する

入力レベル / 出力レベルを調整する	11
BPM/QUANTIZE を設定する	11
SCENE FX セクション	12
ISOLATE FX セクション	12
X-PAD FX セクション	13
RELEASE FX セクション	14
FX SOURCE セクション	14
FX SETTING セクション	15

04 エフェクトの種類

SCENE FX の種類	16
ISOLATE FX の種類	17
X-PAD FX の種類	18
RELEASE FX の種類	18

05 付属ソフトウェアを使う

ソフトウェア使用許諾契約書	19
remibox を使う	19
付属ソフトウェアの最新情報を確認する	20

06 本機の設定を変更する

MIDI 設定を変更する	21
アップデート機能を使う	21

07 MIDI アサインマップ

08 その他

故障かな?と思ったら	24
ブロックダイヤグラム	25
保証とアフターサービス	25
商標および登録商標について	25
著作権についてのご注意	25
免責事項について	25
仕様	26

安全上のご注意

- 安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物の損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。



警告

異常時の処置



万一煙が出ている、変なにおいや音が出るなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置



電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源コードや AC アダプターのコードの上に重い物を載せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードや AC アダプターのコードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物を載せてしまうことがあります。



放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、ラックなどに入れるときはすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あおむけや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
- じゅうたんやふとんの上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。

付属の電源コードと AC アダプターはこの機器のみで使用することを目的とした専用用品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードと AC アダプターは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードや AC アダプターを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となることがあります。



使用環境



本機に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



表示された電源電圧（交流 100 ボルト、50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災の原因となります。



本機の使用環境温度範囲は 5 ℃～35 ℃、使用環境湿度は 85 % 以下（通風孔が妨げられないこと）です。風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光（または人工の強い光）の当たる場所に設置しないでください。

使用方法



本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



ぬれた手で電源コードや AC アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



本機や AC アダプターのカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



電源コードや AC アダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。



雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



AC アダプターのコードを首に巻き付けしないでください。窒息する恐れがあります。

⚠ 注意

設置



電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



電源プラグは、根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事中にコンセントの交換を依頼してください。



ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。



電源コードやACアダプターを抜く時は、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグやACアダプター本体を持って抜いてください。



電源コードやACアダプターのコードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電源コードやACアダプターのコード、接続ケーブルなどをACアダプターに巻きつけないでください。断線や故障の原因になることがあります。



移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。



窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。



本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

使用方法



長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。



電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

保守・点検



5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。



お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

設置場所について

- 熱を発生するアンプなどの上に直接置いたり、スポットライトなどの近くで長時間使用すると、本体に悪い影響を与えますので、おやめください。
- チューナーやテレビから離して設置してください。近くに置いた場合は、雑音や映像の乱れが生じることがあります。なお、雑音や映像の乱れは室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは、屋外アンテナを使用するか、本機の電源を切ってください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

この製品をご使用の際は、製品底面に表示している安全に関する情報をご確認ください。

D3-4-2-2-4_B1_Ja

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

音のエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞にはとくに気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

K021_A1_Ja

愛情点検



長年ご使用のAV機器の点検を！

このような症状は
ありませんか

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ・ACアダプターやACアダプターのコードが異常に熱くなる。
- ・電源コードにさけめやひび割れがある。
- ・電源が入ったり切れたりする。
- ・本体から異常な音、熱、臭いがする。



ご使用
中止

故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

K026*_A1_Ja_P5V2

クイックスタートガイド

本機の特長

本機は、4つのエフェクトセクションで構成されたDJ用REMIX STATIONです。直感的な操作でトラックをリアルタイムにアレンジすることができます。

SCENE FX

ツマミを回す操作によって、再生中のトラックに新たな音を追加したり任意の場所にブレイクを作成したりすることができます。トラックに新しい展開を作り出せます。10種類のエフェクトと2つのサブパラメーターの組み合わせによって、個性あふれるDJリミックスパフォーマンスを実現します。

ISOLATE FX

DJミキサーのEQツマミと同じ操作によって、特定の楽器音を抽出してリズムや音色を変化させることができます。4種類のエフェクトからひとつのエフェクトを選んで、低音域、中音域、高音域に別々の割合でエフェクトをかけることができます。

X-PAD FX

タッチパッドの操作によって、新たな音声をトラックのリズムに合わせて追加できます。あらかじめ用意されている4種類の内蔵音源をはじめ、SDメモリーカードからサンプリング音源を読み込むことで、さまざまな音声をトラックに追加してリミックスすることができます。

RELEASE FX

レバーを操作するだけで、再生中のトラックとエフェクト音をスムーズにつなぐことができます。3種類のエフェクトとレバースイッチにより、個性的なアレンジを作り出すことができます。

QUANTIZE

リアルタイムにトラックのビート位置を解析し、エフェクトやX-PAD FXの発音タイミングを自動で調整します。ラフな操作でも、トラックのテンポとずれることなく演奏することができます。

remixbox

付属の専用アプリケーションソフトウェアを使って、本機の各パラメーターの数値や種類を変更できます。本機をお好みのエフェクトマシンにカスタマイズすることができます。

RMX-1000 Plug-in

コンピュータ上で本機の機能を起動できるVST/AU Plug-inを提供いたします。RMX-1000本体はコントローラーとしてお使いいただけます。

手順の流れ

- 1 「付属品を確認する」
➡ 6ページ
- 2 「入力 / 出力端子に接続する」
➡ 7ページ
- 3 「エフェクトを使うための準備をする」
➡ 9ページ
- 4 「SCENE FXを使う」
➡ 9ページ
- 5 「ISOLATE FXを使う」
➡ 9ページ
- 6 「X-PAD FXを使う」
➡ 9ページ
- 7 「RELEASE FXを使う」
➡ 9ページ

付属品を確認する

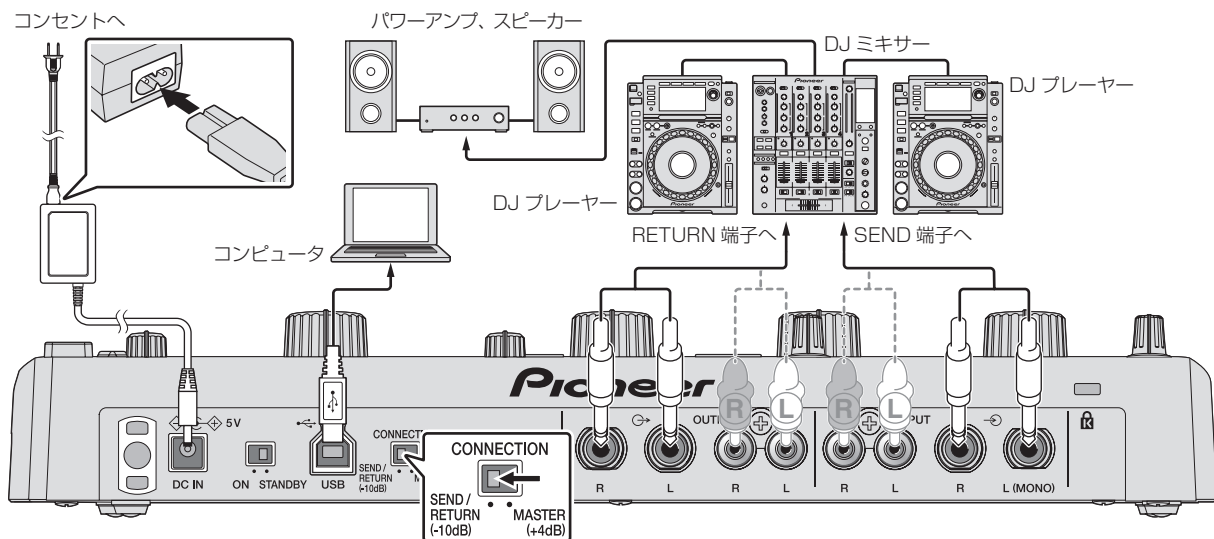
- CD-ROM
- USB ケーブル
- AC アダプター
- 電源コード
- 保証書
- サービス窓口のご案内
- 取扱説明書（本書）

入力 / 出力端子に接続する

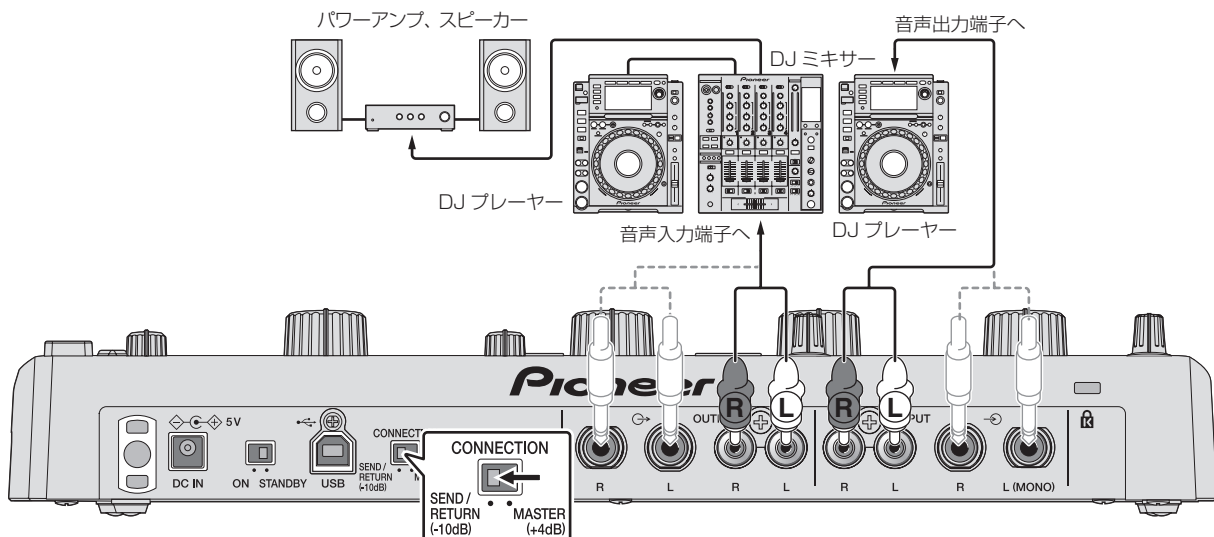
機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。
電源コードと AC アダプターは必ず本製品に付属のものをお使いください。
本機とコンピュータは付属の USB ケーブルで直接接続してください。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続例

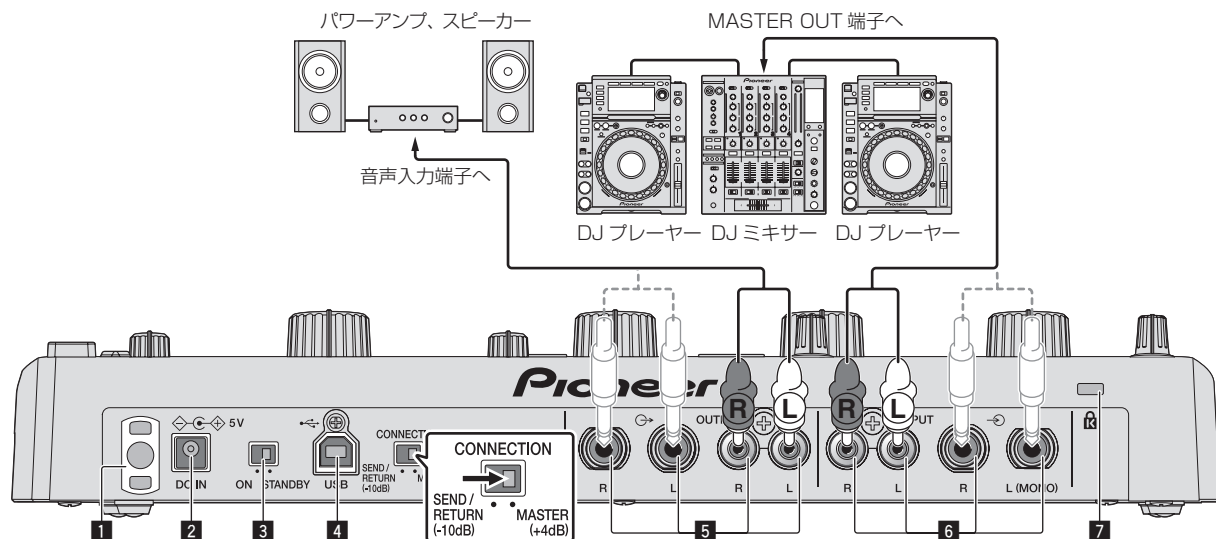
❖ DJ ミキサーの [SEND] 端子および [RETURN] 端子に接続するとき



❖ DJ プレーヤーと DJ ミキサーの間に接続するとき



❖ DJ ミキサーの [MASTER OUT] 端子に接続するとき



1 コードフック

AC アダプターの電源コードを引っ掛けて使います。

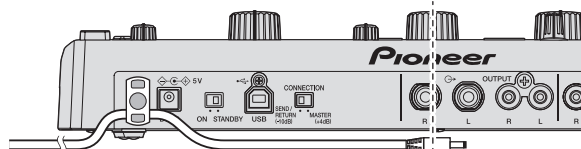
- 再生中に AC アダプターの電源コードが本体から抜けると音声がか切れます。

コードフックの使い方

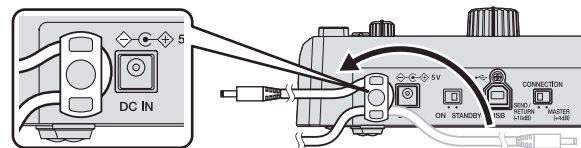
AC アダプターの電源コードは、コードフックに引っ掛けることで固定されます。電源コードを誤って引っ張り、プラグが端子から抜けてしまうことを防げます。

- 再生中に AC アダプターの電源コードが本体から抜けると音声がか切れます。

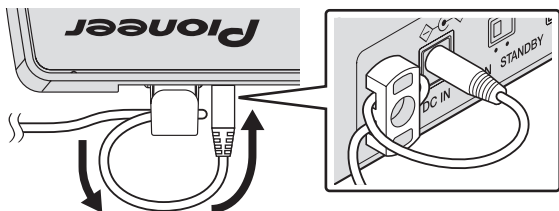
- 下図のように電源コードの先端部分を本機背面の真ん中くらいまで伸ばし、電源コードをコードフックの下側に引っ掛ける



- 下図のように電源コードの先端部分をコードフックの上方を通して反対側へ回し、電源コードをコードフックの上側に引っ掛ける



- 電源コードの先端をいったん手前に向け、図のように輪を作るようにして向きを反転させ、本機の [DC IN] 端子に差し込む



2 DC IN 端子

付属の AC アダプターの DC プラグと接続します。電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。
電源コードと AC アダプターは必ず本製品に付属のものをお使いください。

3 ON, STANDBY スイッチ

本機の電源をオン / スタンバイにします。

⚠ 注意

製品の仕様により、本体部やリモコン（付属の場合）のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなくなる場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ（遮断装置）に簡単に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

4 USB 端子

コンピュータと接続します。

- 本機とコンピュータは付属の USB ケーブルで直接接続してください。
- USB ハブは使えません。

5 OUTPUT 端子

ミキサーなどの外部入力端子と接続します。

6 INPUT 端子

ミキサーなどの外部出力端子と接続します。[L (MONO)] だけに接続すると、[L (MONO)] に入力される音声は [R] にも入力されます。

⚠ 注意

音声ケーブルを接続するときは、必ず RCA ピンジャックまたはフォンジャックのどちらか一方だけに接続してください。

音声信号の流れがループしないように機器どうしを接続してください。ループ接続した場合、回路が発振を起こしスピーカーなどを破損するおそれがあります。

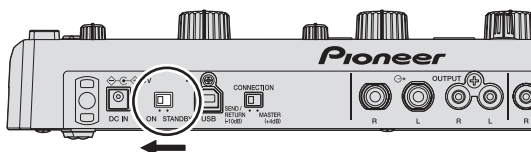
ループ接続の禁止例

- DJ ミキサーの出力を本機の入力端子へ接続し、本機の出力を同じ DJ ミキサーの入力端子へ入力する。
- DJ ミキサーの [SEND] 端子の出力を本機の入力端子へ接続し、本機の出力を同じ DJ ミキサーの [RETURN] 端子以外の入力端子へ入力する。

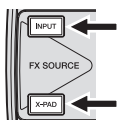
7 ケンジントンロック装着用穴

エフェクトを使うための準備をする

- 1 本機背面の [ON, STANDBY] スイッチを [ON] の位置にスライドさせる



- 2 [INPUT] ボタンおよび [X-PAD] ボタンが点灯しているか確認する



- [INPUT] ボタンおよび [X-PAD] ボタンが点灯していないときは、ボタンを押して点灯させます。

- 3 [INPUT LEVEL] ツマミを回す



- 4 [OUTPUT LEVEL] ツマミを回す



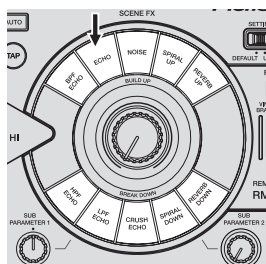
- 5 エフェクトを使う

各エフェクトの使い方については、次の項目をご覧ください。

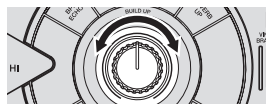
SCENE FX を使う

中心のツマミを回すと、トラックに新たな音を追加する効果や削る効果がかかります。トラックに新しい展開を加えることができます。

- 1 [SCENE FX] ボタンのいずれかを押す



- 2 [SCENE FX] ツマミを回す

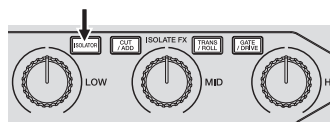


ツマミを右に回すと選択された SCENE FX の効果が大きく変化します。ツマミを左に回しきると SCENE FX の効果はかからず原音が出力されます。

ISOLATE FX を使う

[LOW] ツマミ、[MID] ツマミ、または [HI] ツマミを回すと、低音域、中音域、または高音域のエフェクトの効果を減らしたり増やしたりできます。また、低音域、中音域、または高音域の特定の楽器音を抽出して音数を減らしたり増やしたりすることもできます。

- 1 [ISOLATE FX] ボタンのいずれかを押す



- 2 [LOW]、[MID]、または [HI] ツマミを回す

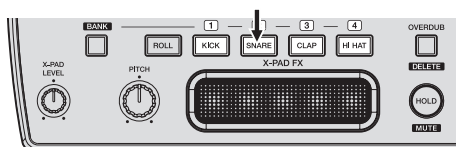


ツマミを左右に回すと選択された ISOLATE FX の効果が変化します。ツマミをセンター位置にすると ISOLATE FX の効果はかからず原音が出力されます。

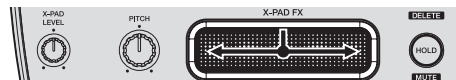
X-PAD FX を使う

本機の内蔵音源にエフェクトをかけ、再生中のトラックに追加できます。内蔵音源の代わりに、あらかじめ SD メモリーカードに用意したサンプリング音源を読み出して使ったり、再生中の音声をサンプリングして使うこともできます。

- 1 [X-PAD FX] ボタンのいずれかを押す



- 2 [X-PAD] に触れる

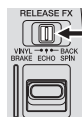


[X-PAD] に触れる位置によって選択された X-PAD FX の効果が変化します。

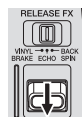
RELEASE FX を使う

[RELEASE FX] レバーを手前に倒すと、元の音声が無くなりエフェクト音だけが出力されます。レバーを元の位置に戻すと、エフェクト音から元の音声へスムーズにつなぐことができます。

- 1 [RELEASE FX] 切換スイッチを切り換える

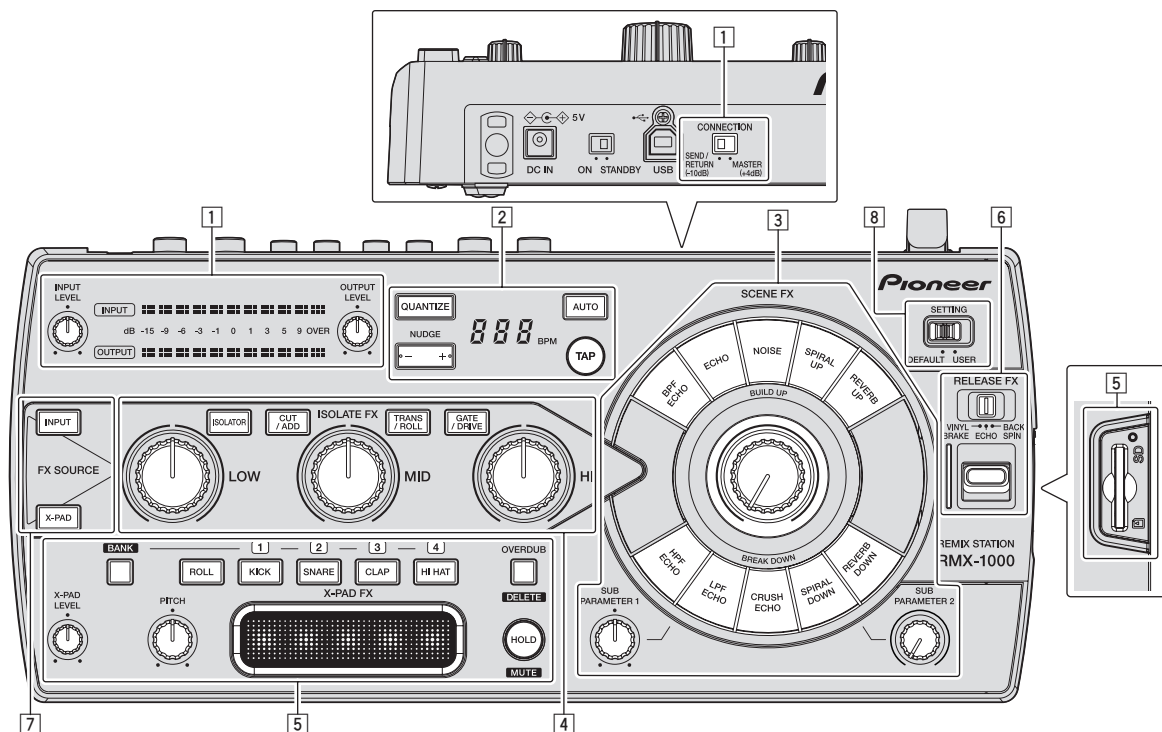


- 2 [RELEASE FX] レバーを手前に倒す



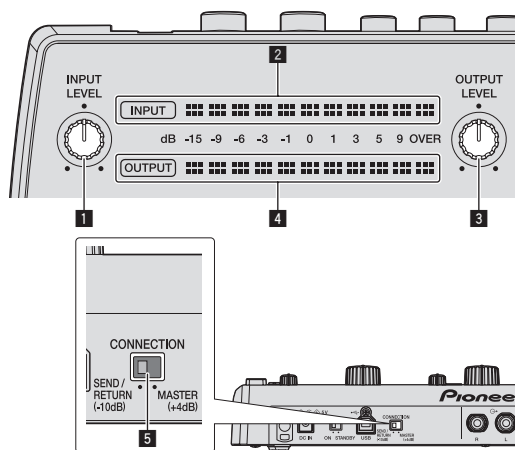
レバーの位置に合わせて、選択された RELEASE FX の効果が変化します。レバーを元の位置に戻すとエフェクトがオフになります。それまでオンになっていた SCENE FX、ISOLATE FX および X-PAD FX もオフになります。

操作する



- 1 入力レベル / 出力レベルを調整する (11ページ)
- 2 BPM/QUANTIZE を設定する (11ページ)
- 3 SCENE FX セクション (12ページ)
- 4 ISOLATE FX セクション (12ページ)
- 5 X-PAD FX セクション (13ページ)
- 6 RELEASE FX セクション (14ページ)
- 7 FX SOURCE セクション (14ページ)
- 8 FX SETTING セクション (15ページ)

入力レベル / 出力レベルを調整する



1 INPUT LEVEL ツマミ

本機に入力される音声レベルを調整します。

2 INPUT レベルインジケーター

本機に入力される音声レベルを表示します。

3 OUTPUT LEVEL ツマミ

本機から出力される音声レベルを調整します。

4 OUTPUT レベルインジケーター

本機から出力される音声レベルを表示します。

5 CONNECTION 切換スイッチ

本機の入出力ゲインを切り換えます。

入力レベルを調整する

[INPUT LEVEL] ツマミを回す

右に回すほど本機に入力される音声レベルが大きくなり、左に回すほど本機に入力される音声レベルが小さくなります。

本機に音声が入力されているときは、[INPUT] レベルインジケーターが点灯します。

出力レベルを調整する

[OUTPUT LEVEL] ツマミを回す

右に回すほど本機から出力される音声レベルが大きくなり、左に回すほど本機から出力される音声レベルが小さくなります。

本機から出力される音声レベルに応じて [OUTPUT] レベルインジケーターが点灯します。

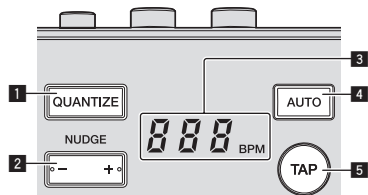
入出力ゲインを切り換える

本機は、接続する機器に合わせて入出力ゲインを切り換えられます。

本機背面の [CONNECTION] 切換スイッチをスライドさせる

- [SEND/RETURN (-10 dB)] : DJ ミキサーの [SEND] 端子および [RETURN] 端子と接続するとき、または DJ プレーヤーの音声出力端子と接続するときを選びます。
- [MASTER (+4 dB)] : DJ ミキサーの [MASTER OUT] 端子と接続するときを選びます。

BPM/QUANTIZE を設定する



1 QUANTIZE ボタン

QUANTIZE 機能をオン / オフします。

X-PAD FX から出力される音声の周期およびタイミングを、再生中のトラックのテンポに同期させます。

2 NUDGE (+, -) ボタン

X-PAD FX から出力される音声の周期およびタイミングを微調整します。

3 BPM 表示部

BPM 測定モードがオートモードのとき、自動で検出した BPM 値を表示します。検出できないときは前回検出した BPM 値を表示して点滅します。

BPM 測定モードが手動入力モードのとき、手動で入力した BPM 値を表示します。

4 AUTO ボタン

BPM の測定モードを切り換えます。

- [AUTO]: 入力されている音声信号から BPM を自動測定します。本機の電源をオンにしたときは、[AUTO] に設定されます。
- [TAP]: [TAP] ボタンを指で叩いて BPM を手動で入力します。
- [AUTO] の BPM 測定範囲は BPM=70 ~ 180 です。曲によっては正しく測定できないことがあります。BPM を測定できないときは表示部の BPM 値が点滅します。そのときは [TAP] ボタンを使って手動で入力してください。

5 TAP ボタン

BPM の測定モードが手動入力モードのとき、ボタンを指で叩いて手動で BPM を入力します。

QUANTIZE 機能を使う

再生中のトラックのテンポをリアルタイムに解析し、X-PAD FX セクションから発音される音声を再生中のトラックのテンポに同期させます。

1 [QUANTIZE] ボタンを押す

QUANTIZE 機能をオンにします。

2 X-PAD FX セクションを操作する

X-PAD FX セクションから発音される音声の周期およびタイミングが、再生中のトラックのテンポに同期します。

- ISOLATE FX セクションの [TRANS/ROLL] のエフェクトの周期も再生中のトラックのテンポに同期します。
- [KICK] ボタン、[SNARE] ボタン、[CLAP] ボタン、または [HI HAT] ボタンを押したときに発音されるワンショット音は、QUANTIZE 機能のオン / オフに関係なく即座に発音されます。
- ふたたび [QUANTIZE] ボタンを押すと、QUANTIZE 機能がオフになります。

NUDGE 機能を使う

[NUDGE (+, -)] ボタンを使って X-PAD FX から出力される音声の周期およびタイミングを微調整できます。

[NUDGE (+, -)] ボタンの [+] または [-] を押す

- [+] : X-PAD FX から出力される音声の周期およびタイミングを進めます。押し続けている間、音声の周期およびタイミングを進め続けます。
- [-] : X-PAD FX から出力される音声の周期およびタイミングを遅らせます。押し続けている間、音声の周期およびタイミングを遅らせ続けます。

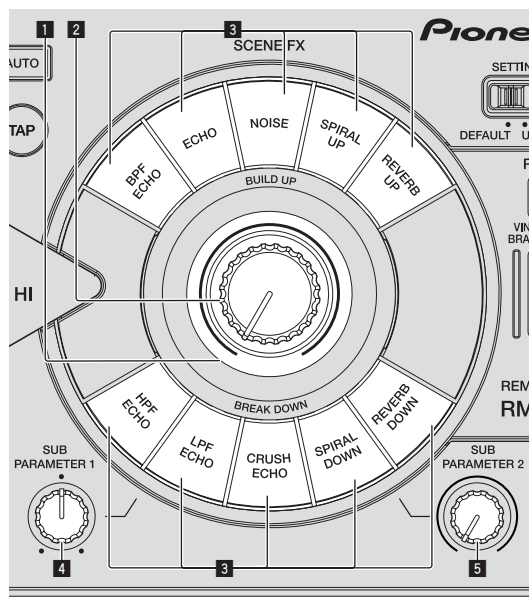
BPM を手動で入力する

再生中の音声の拍 (4 分音符) に合わせて [TAP] ボタンを 2 回以上指で叩く

[TAP] ボタンを指で叩いた間隔の平均値が BPM に設定されます。

- [TAP] ボタンを押しながら [NUDGE (+, -)] ボタンを押すと BPM を手動で設定できます。
- [TAP] ボタンを押しながら [AUTO] ボタンを押し、2 つのボタンを押しながら [NUDGE (+, -)] ボタンを押すと BPM を 0.1 単位で設定できます。

SCENE FX セクション



1 SCENE FX インジケーター

エフェクトがオンのとき点灯します。[SCENE FX] ボタンの種類に合わせて点灯色が変化します。

2 SCENE FX ツマミ

選択された SCENE FX の効果を調整します。

3 SCENE FX ボタン

SCENE FX をオン / オフします。

4 SUB PARAMETER 1 ツマミ

SCENE FX のサブパラメーター 1 を調整します。

5 SUB PARAMETER 2 ツマミ

SCENE FX のサブパラメーター 2 を調整します。

SCENE FX を使う

1 [SCENE FX] ボタンのいずれかを押す

SCENE FX のエフェクトの種類を選びます。

押したボタンが点滅します。

- エフェクトの種類について詳しくは、16 ページの「SCENE FX の種類」をご覧ください。
- 選んでいる [SCENE FX] ボタンをもう一度押すとエフェクトがオフになります。

2 [SCENE FX] ツマミを回す

FX SOURCE セクションで選択した音声に、選んだエフェクトの効果が加わります。

- 右に回すとエフェクトの効果が大きくなります。右に回しきると効果が最大になります。

- 左に回すとエフェクトの効果が小さくなります。左に回しきると効果が加からず原音が出力されます。

3 [SUB PARAMETER 1] ツマミを回す

選択したエフェクトのサブパラメーター 1 の効果を調整します。

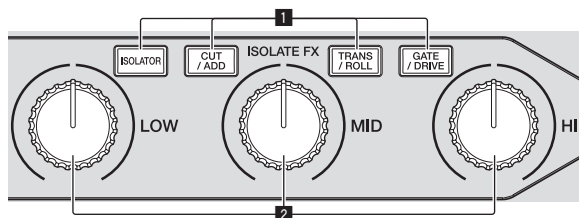
- センターから右に回すほど、エフェクトの効果が大きくなります。右に回しきると効果が最大になります。
- センターから左に回すほど、エフェクトの効果が小さくなります。左に回しきると効果が最小になります。

4 [SUB PARAMETER 2] ツマミを回す

選択したエフェクトのサブパラメーター 2 の効果を調整します。

- 右に回すほど効果が強調されます。
- 左に回しきると効果が最小になります。

ISOLATE FX セクション



1 ISOLATE FX ボタン

ISOLATE FX をオン / オフします。

2 LOW ツマミ、MID ツマミ、HI ツマミ

選択した ISOLATE FX の低音域、中音域、高音域の効果を調整します。

ISOLATE FX を使う

1 [ISOLATE FX] ボタンのいずれかを押す

ISOLATE FX のエフェクトの種類を選びます。

押したボタンが点滅します。

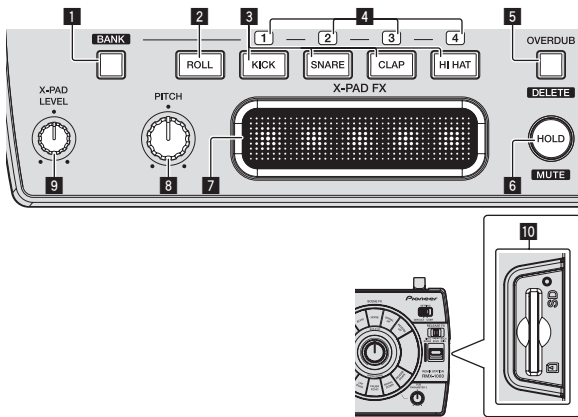
- エフェクトの種類について詳しくは、17 ページの「ISOLATE FX の種類」をご覧ください。
- 選んでいる [ISOLATE FX] ボタンをもう一度押すとエフェクトがオフになります。

2 [LOW]、[MID]、または [HI] ツマミを回す

FX SOURCE セクションで選択した音声に、選んだエフェクトの効果が加わります。

- センターから右に回すほど、音を増やすエフェクトの効果が大きくなります。右に回しきると効果が最大になります。
- センターから左に回すほど、音を削るエフェクトの効果が大きくなります。左に回しきると効果が最大になります。

X-PAD FX セクション



1 BANK ボタン

SD メモリーカードからサンプリング音源を読み出すときに使います。

2 ROLL ボタン

本機に入力されている音声をサンプリングしてループ再生します。

3 X-PAD FX ボタン

本機の内蔵音源、または SD メモリーカードから読み出したサンプリング音源を選択して出力します。ボタンを押すと、即座に発音します (ワンショット音)。

4 BANK インジケーター

SD メモリーカードからサンプリング音源を読み込むとき、読み込み可能な BANK の番号が点灯します。

5 OVERDUB (DELETE) ボタン

OVERDUB 機能をオン / オフします。
OVERDUB 機能がオンのとき、任意の音を削除するために使います。

6 HOLD (MUTE) ボタン

X-PAD FX の効果をホールドします。
OVERDUB 機能がオンのとき、任意の音をミュートするために使います。

7 X-PAD

X-PAD FX の効果を調整します。

8 PITCH ツマミ

本機の内蔵音源、SD メモリーカードから読み出したサンプリング音源、またはループ再生している音声の音程を調整します。

9 X-PAD LEVEL ツマミ

本機の内蔵音源、または SD メモリーカードから読み出したサンプリング音源の音声レベルを調整します。
[ROLL] ボタンが押されているときは、再生中のトラックの音声レベルとサンプリングした音声の音量バランスを調整します。

10 SD メモリーカード挿入口

- SD メモリーカードをセットします。
- SD メモリーカードは表裏に注意して挿入してください。
- SD メモリーカードを無理やり出し入れしないでください。SD メモリーカードの破損および本機の故障の原因になります。
- SD メモリーカード挿入口には、SD メモリーカード以外の物を挿入しないでください。コインなど金属物を挿入すると、内部回路が破損し故障の原因になります。
- 本機で使える SD メモリーカードの種類は SD 規格に準拠した SD メモリーカードおよび SDHC メモリーカードです。

X-PAD FX を使う

1 [X-PAD FX] ボタンのいずれかを押す

本機の内蔵音源、または SD メモリーカードから読み出したサンプリング音源を選択して出力します。ボタンを押すと、即座に発音します。押したボタンが点灯します。

- [KICK] ボタン、[SNARE] ボタン、[CLAP] ボタン、および [HI HAT] ボタンには、それぞれ内蔵音源がプリセットされています。
- SD メモリーカードに記録されているサンプリング音源を選ぶときは、[BANK] ボタンを押しながら [X-PAD FX] ボタンを押します。

2 [X-PAD] に触れる

エフェクトをオンにします。

[X-PAD] に触れる位置によってエフェクトの効果が変化します。

- [X-PAD] から指を放すとエフェクトがオフになります。

再生中の音声をサンプリングして X-PAD FX を使う

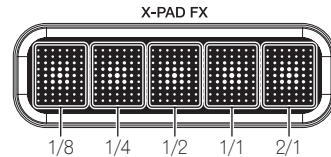
1 [ROLL] ボタンを押す

[ROLL] ボタンが点灯します。

2 [X-PAD] に触れる

[X-PAD] に触れた時点の音声サンプリングされループ再生が始まります。

サンプリングされる拍数は [X-PAD] に触れる位置によって異なります。



- [X-PAD] から指を放すとエフェクトがオフになります。

ホールド機能を使う

[HOLD (MUTE)] ボタンを押す

ホールドをオンにすると、[X-PAD] から指を放す直前の X-PAD FX の効果を保ち続けます。

- ふたたび [HOLD (MUTE)] ボタンを押すとホールドがオフになります。

BANK 機能を使う

[BANK] ボタンを押しながら [X-PAD FX] ボタン ([KICK] ボタン、[SNARE] ボタン、[CLAP] ボタン、または [HI HAT] ボタン) を押すと、本機の SD メモリーカードスロットに挿入された SD メモリーカードから [BANK1]、[BANK2]、[BANK3]、または [BANK4] のサンプリング音源を [X-PAD FX] ボタンにロードできます。

- SD メモリーカードからサンプリング音源を [X-PAD FX] ボタンにロードするときは、あらかじめ remixbox を使って SD メモリーカードにサンプリング音源を保存してください。詳しくは、remixbox の取扱説明書をご覧ください。

1 サンプリング音源が保存されている SD メモリーカードを本機の SD メモリーカードスロットに挿入する

2 [BANK] ボタンを押して、ロードできる BANK を確認する

[BANK] ボタンを押すと、ロードできる BANK の [BANK] インジケーターが点滅します。

3 [BANK] ボタンを押しながら [X-PAD FX] ボタン ([KICK] ボタン、[SNARE] ボタン、[CLAP] ボタン、または [HI HAT] ボタン) を押す

SD メモリーカードに保存されているサンプリング音源を、選択した BANK の [SLOT1] ~ [SLOT4] にロードします。

	[KICK] ボタン	[SNARE] ボタン	[CLAP] ボタン	[HI HAT] ボタン
[BANK] ボタン + [KICK] ボタン	BANK1 SLOT1	BANK1 SLOT2	BANK1 SLOT3	BANK1 SLOT4
[BANK] ボタン + [SNARE] ボタン	BANK2 SLOT1	BANK2 SLOT2	BANK2 SLOT3	BANK2 SLOT4
[BANK] ボタン + [CLAP] ボタン	BANK3 SLOT1	BANK3 SLOT2	BANK3 SLOT3	BANK3 SLOT4
[BANK] ボタン + [HI HAT] ボタン	BANK4 SLOT1	BANK4 SLOT2	BANK4 SLOT3	BANK4 SLOT4

- ロードできる音源は最大 4BANK × 4SLOT です。
- 1BANK(4SLOT の合計) に設定できる音源は、最大 16 秒までです。
- 音源は 48 kHz 24 bit または 48 kHz 16 bit の WAV ファイルに対応しています。
- ふたたび [BANK] ボタンを押しながら点灯している [X-PAD FX] ボタンを押すと、本機の内蔵音源を選択して発音します。

OVERDUB 機能を使う

❖ 音を記録して再生する

各 [X-PAD FX] ボタンを 4 拍分記録してループ再生します。

1 [OVERDUB (DELETE)] ボタンを押す

OVERDUB 機能をオンにします。

[X-PAD FX] ボタンを操作するまで待機状態になります。

2 [X-PAD FX] ボタンのいずれかを押す

[X-PAD FX] ボタンを押した時点から音を記録し始め、4 拍分のループ再生を始めます。

- ループ再生中に [X-PAD FX] ボタンのいずれかを押すと、押された [X-PAD FX] ボタンの音を追加することができます。
- ふたたび [OVERDUB (DELETE)] ボタンを押すと OVERDUB 機能がオフになり再生および記録をやめます。記録した音は削除されます。

❖ 記録した音をミュートする

[HOLD (MUTE)] ボタンを押しながら [X-PAD FX] ボタンのいずれかを押す

記録した音から、押された [X-PAD FX] ボタンの音をミュートします。

- ふたたび [HOLD (MUTE)] ボタンを押しながらミュート中の [X-PAD FX] ボタンを押すと、ミュートが解除されます。

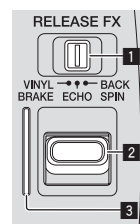
❖ 記録した音を削除する

[OVERDUB (DELETE)] ボタンを押しながら [X-PAD FX] ボタンのいずれかを押す

記録した音から、押された [X-PAD FX] ボタンの音を削除します。

- 削除した音は元に戻せません。

RELEASE FX セクション



1 RELEASE FX 切替スイッチ

RELEASE FX の種類を切り換えます。

2 RELEASE FX レバー

RELEASE FX の効果を調整します。

3 RELEASE FX インジケータ

エフェクトがオンのとき点灯します。[RELEASE FX] レバーの位置に合わせて点灯します。

RELEASE FX を使う

1 [RELEASE FX] 切替スイッチを切り換える

RELEASE FX の効果を選びます。

- エフェクトの種類について詳しくは、18 ページの「RELEASE FX の種類」をご覧ください。

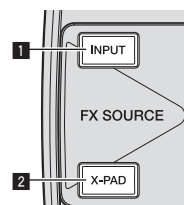
2 [RELEASE FX] レバーを手前に倒す

エフェクトをオンにします。

FX SOURCE セクションで選択した音声に、選んだエフェクトの効果が加わります。

- レバーの位置に合わせてエフェクトが変化します。
- レバーを元の位置に戻すとエフェクトがオフになります。それまでオンになっていた SCENE FX、ISOLATE FX および X-PAD FX もオフになります。

FX SOURCE セクション



1 INPUT ボタン

本機の [INPUT] 端子に入力される音声を、本機の SCENE FX、ISOLATE FX、RELEASE FX に通します。

2 X-PAD ボタン

X-PAD FX から出力される音声を、本機の SCENE FX、ISOLATE FX、RELEASE FX に通します。

音声信号の経路を切り換える

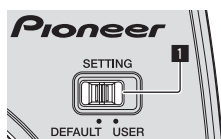
本機に入力される音声および本機内部で発生させる音声を、本機の SCENE FX、ISOLATE FX、RELEASE FX に通す / 通さないを切り換えます。

[INPUT] ボタンまたは [X-PAD] ボタンを押す

選んだ音声信号が本機の SCENE FX、ISOLATE FX、RELEASE FX に入力されます。

- [INPUT] ボタンと [X-PAD] ボタンは同時に選択することもできます。
- SCENE FX セクションの [NOISE] は、[INPUT] ボタン、[X-PAD] ボタンの状態にかかわらず効果がかります。

FX SETTING セクション



1 SETTING 切替スイッチ

本機のエフェクトのパラメーターデータを [DEFAULT] モードまたは [USER] モードに切り換えます。

- [DEFAULT] モード：工場出荷時のパラメーターデータで本機を使うことができます。
- [USER] モード：remixbox を使って作成したパラメーターデータを本機に読み込んで使うことができます。

remixbox を使ってできること

本機に付属のアプリケーション「remixbox」を使って、以下のような設定を変更することができます。

- エフェクトのパラメーター：各エフェクトのパラメーターをカスタマイズできます。
- エフェクトの種類：X-PAD FX の [ROLL] を別のエフェクトに変更できます。
- ボタンの感度：[SCENE FX] ボタンおよび [ISOLATE FX] ボタンの感度を調整できます。
- サンプリング音源の管理：本機に読み込み可能なサンプリング音源の保存、および管理をすることができます。

詳しくは、remixbox のヘルプをご覧ください。

remixbox のインストール方法は 19 ページの「remixbox を使う」をご覧ください。

本機を USER モードで使う

- あらかじめ remixbox を使ってカスタマイズパラメーターデータを作成してください。
- 工場出荷時は、[USER] モードには [DEFAULT] モードと同じパラメーターデータが書き込まれています。

❖ remixbox から本機にカスタマイズパラメーターデータを書き込む

- 1 remixbox がインストールされているコンピュータと本機を USB ケーブルで接続する
- 2 remixbox から本機にカスタマイズパラメーターデータを送信する
- 3 [SETTING] 切替スイッチを [USER] の位置にスライドさせる

❖ SD メモリーカードに保存されたカスタマイズパラメーターデータを読み込む

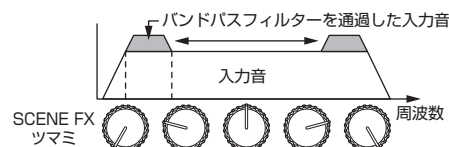
- 1 remixbox を使って、SD メモリーカードにカスタマイズパラメーターデータを保存する
 - 2 手順 1 の SD メモリーカードを、本機の SD メモリーカードスロットに挿入する
 - 3 [SETTING] 切替スイッチを [USER] の位置にスライドさせる
- SD メモリーカードに保存されたカスタマイズパラメーターデータは、その SD メモリーカードを挿入しているときだけ本機に反映されます。

エフェクトの種類

SCENE FX の種類

BPF ECHO

バンドパスフィルターを通した入力音をもとの入力音に重ね、エコーを通してから出力します。
入力音の拍の倍率に合わせてディレイ音を減衰させながら数回出力します。



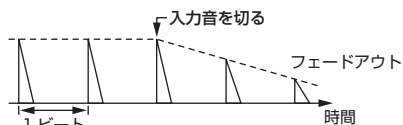
SCENE FX ツマミ バンドパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。

SUB PARAMETER 1 ツマミ エコー音のディレイタイムを設定します。

SUB PARAMETER 2 ツマミ 出力にモジュレーションの効果を加えます。

ECHO

入力音の拍の倍率に合わせてディレイ音を減衰させながら数回出力します。



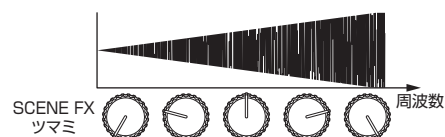
SCENE FX ツマミ 原音とエコー音のバランスを設定します。

SUB PARAMETER 1 ツマミ エコー音のディレイタイムを設定します。

SUB PARAMETER 2 ツマミ フィルターのカットオフ周波数を設定します。

NOISE

本機内部で発生させたホワイトノイズをバンドパスフィルターとエコーを通してから出力します。



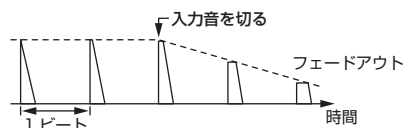
SCENE FX ツマミ ホワイトノイズを通すフィルターのカットオフ周波数を設定します。

SUB PARAMETER 1 ツマミ ホワイトノイズの音量を設定します。

SUB PARAMETER 2 ツマミ ホワイトノイズにモジュレーションの効果を加えます。

SPIRAL UP

入力音に残響効果を加えます。
ディレイタイムを変化させたとき、同時に音程も変化します。



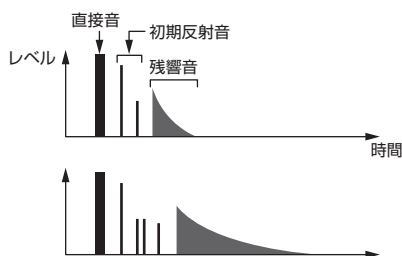
SCENE FX ツマミ SPIRAL のディレイタイムを設定します。

SUB PARAMETER 1 ツマミ エコー音のディレイタイムを設定します。

SUB PARAMETER 2 ツマミ 音程を上げるときのピッチシフト量を設定します。

REVERB UP

入力音に残響効果を加えます。



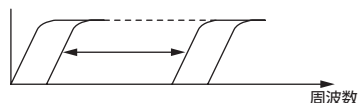
SCENE FX ツマミ 残響効果の程度を設定します。

SUB PARAMETER 1 ツマミ 残響効果の程度を設定します。

SUB PARAMETER 2 ツマミ ハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。

HPF ECHO

入力音をハイパスフィルターとエコーを通してから出力します。
入力音の拍の倍率に合わせてディレイ音を減衰させながら数回出力します。



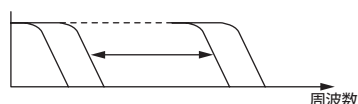
SCENE FX ツマミ ハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。

SUB PARAMETER 1 ツマミ エコー音のディレイタイムを設定します。

SUB PARAMETER 2 ツマミ 出力にモジュレーションの効果を加えます。

LPF ECHO

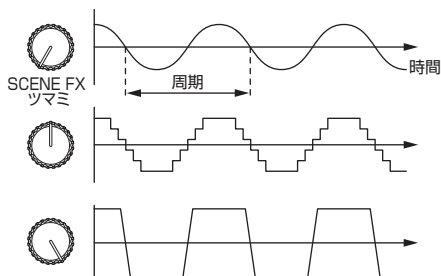
入力音をローパスフィルターとエコーを通してから出力します。
入力音の拍の倍率に合わせてディレイ音を減衰させながら数回出力します。



SCENE FX ツマミ	ローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。
SUB PARAMETER 1 ツマミ	エコー音のディレイタイムを設定します。
SUB PARAMETER 2 ツマミ	出力にモジュレーションの効果を加えます。

CRUSH ECHO

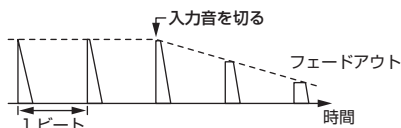
入力音を壊したような音にして、フィルターとエコーを通してから出力します。
入力音の拍の倍率に合わせてディレイ音を減衰させながら数回出力します。



SCENE FX ツマミ	入力音を壊す程度を設定します。
SUB PARAMETER 1 ツマミ	エコー音のディレイタイムを設定します。
SUB PARAMETER 2 ツマミ	出力にモジュレーションの効果を加えます。

SPIRAL DOWN

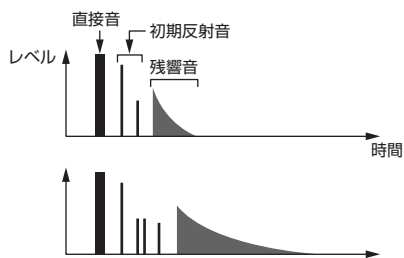
入力音に残響効果を加えます。
ディレイタイムを変化させたとき、同時に音程も変化します。



SCENE FX ツマミ	SPIRAL のディレイタイムを設定します。
SUB PARAMETER 1 ツマミ	エコー音のディレイタイムを設定します。
SUB PARAMETER 2 ツマミ	音程を下げるときのピッチシフト量を設定します。

REVERB DOWN

入力音に残響効果を加えます。



SCENE FX ツマミ	残響効果の程度を設定します。
SUB PARAMETER 1 ツマミ	残響効果の程度を設定します。
SUB PARAMETER 2 ツマミ	ローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。

ISOLATE FX の種類

ISOLATOR

入力音を低音域、中音域、高音域の 3 つの帯域に分割し、それぞれの帯域の音声レベルを調整することができます。

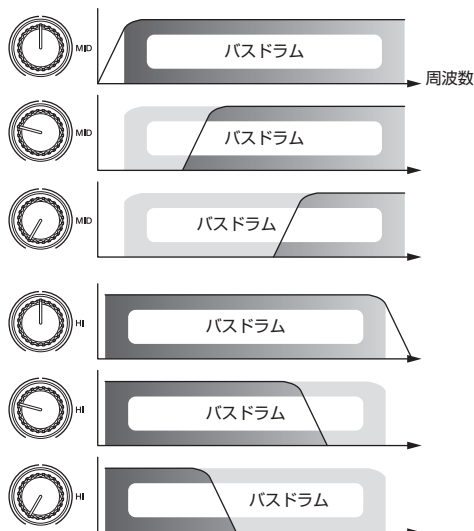
LOW ツマミ	低音域の音声レベルを調整します。
MID ツマミ	中音域の音声レベルを調整します。
HI ツマミ	高音域の音声レベルを調整します。

CUT/ADD

❖ CUT : 左回し

入力音の中から検出したバスドラムの音声レベルと、マニュアルフィルターのカットオフ周波数を調整できます。

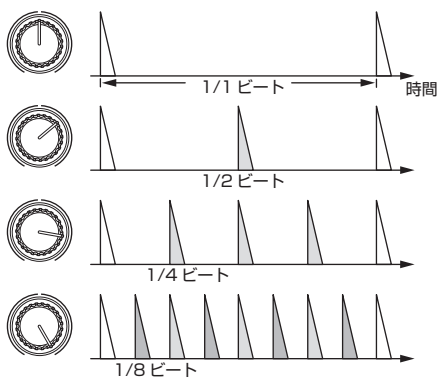
LOW ツマミ	入力音の中から検出したバスドラムの音声レベルを調整します。
MID ツマミ	入力音の中から検出したバスドラム以外の音声にハイパスフィルターをかけます。
HI ツマミ	入力音の中から検出したバスドラム以外の音声にローパスフィルターをかけます。



❖ ADD : 右回し

入力音の拍の倍率に合わせて 1/8 拍のディレイ音を追加できます。

LOW ツマミ	低音域のディレイ音の音声レベルを調整します。
MID ツマミ	中音域のディレイ音の音声レベルを調整します。
HI ツマミ	高音域のディレイ音の音声レベルを調整します。

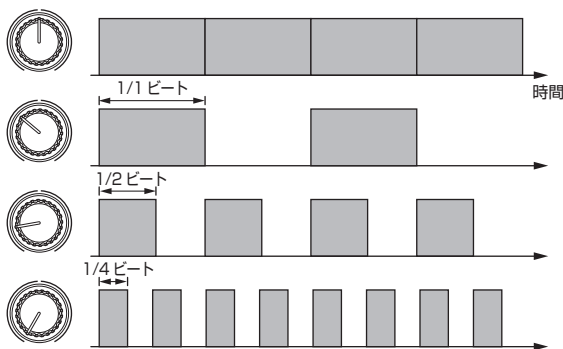


TRANS/ROLL

❖ TRANS : 左回し

ツマミの位置で設定した拍の倍率に合わせて入力音をカットします。

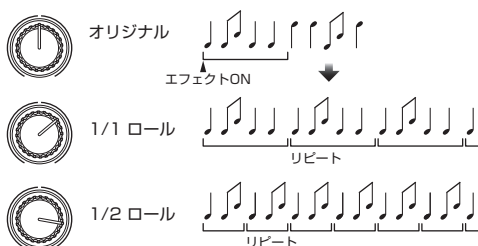
LOW ツマミ	低音域の音声をカットする量を調整します。
MID ツマミ	中音域の音声をカットする量を調整します。
HI ツマミ	高音域の音声をカットする量を調整します。



❖ ROLL : 右回し

[LOW] ツマミ、[MID] ツマミ、または [HI] ツマミを回した時点から入力音を記録し、ツマミの位置で設定した拍の倍率に合わせて記録した音を繰り返し出力します。

LOW ツマミ	低音域の音声を繰り返し出力する周期を調整します。
MID ツマミ	中音域の音声を繰り返し出力する周期を調整します。
HI ツマミ	高音域の音声を繰り返し出力する周期を調整します。

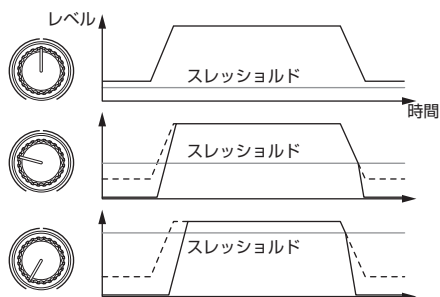


GATE/DRIVE

❖ GATE : 左回し

スレッシュホールドレベルよりも高いレベルの入力音は出力し、低い入力音はカットします。

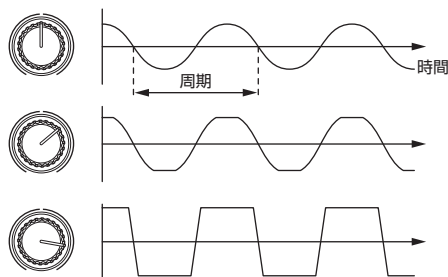
LOW ツマミ	低音域の音声のスレッシュホールドレベルを調整します。
MID ツマミ	中音域の音声のスレッシュホールドレベルを調整します。
HI ツマミ	高音域の音声のスレッシュホールドレベルを調整します。



❖ DRIVE : 右回し

入力音を歪ませます。

LOW ツマミ	低音域の音声を歪ませる量を調整します。
MID ツマミ	中音域の音声を歪ませる量を調整します。
HI ツマミ	高音域の音声を歪ませる量を調整します。



X-PAD FX の種類

ROLL	[X-PAD] に触れた時点から入力音を記録し、記録した音を [X-PAD] で設定した拍の倍率に合わせて繰り返し出力します。
KICK	本機の内蔵音源 (KICK) を出力します。
SNARE	本機の内蔵音源 (SNARE) を出力します。
CLAP	本機の内蔵音源 (CLAP) を出力します。
HI HAT	本機の内蔵音源 (HI HAT) を出力します。
SAMPLER	SD メモリーカードに記録されているサンプリング音源を出力します。

RELEASE FX の種類

VINYL BRAKE	入力音の再生速度を徐々に遅くしていき、最終的に停止するときのような効果が得られます。
ECHO	入力音のビートに合わせてディレイ音を減衰させながら数回出力します。
BACK SPIN	再生中の入力音を高速で逆再生させたときのような効果が得られます。

付属ソフトウェアを使う

ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア使用許諾契約書（以下「本契約」といいます）は、お客様とパイオニア株式会社（以下「当社」といいます）との間における、DJ 機器用ソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます）の使用に関する事項を定めるものです。

本ソフトウェアをインストールし、あるいはご利用になるにあたっては、必ず以下の条項をよくお読み下さい。お客様が本ソフトウェアをご利用になった場合は、本契約に同意されたものとします。もし本契約に同意されない場合には、本ソフトウェアのインストール及びご利用をおやめ下さい。

（使用許諾）

本契約の内容に従うことを条件として、お客様は、本ソフトウェアを一台のパーソナル・コンピュータにインストールして使用することができます。

（制限事項）

お客様は、本ソフトウェアの複製物を作成しあるいは配布し、またはネットワークを通じあるいは一台のコンピュータから別のコンピュータに送信してはなりません。また、お客様は、本ソフトウェアの改変、販売、貸与、譲渡、転売、本ソフトウェアの二次的著作物の頒布又は作成等を行うことはできず、さらに、逆コンパイル、リバース・エンジニアリング、逆アセンブルし、その他、人間の覚知可能な形態に変更することもできません。

（著作権等）

本ソフトウェアに関する著作権その他一切の知的財産権は、当社あるいはその関連会社に帰属します。本ソフトウェアは、著作権法及び国際条約の規定により保護されています。

（保証及び技術サポートの否認）

本ソフトウェア及びそれに付随する一切の資料等は、あくまで「現状のまま」提供されます。当社は、お客様や第三者に対して、これらの商品性、特定目的への適合性、他人の権利を侵害しないこと、その他一切の事項について保証せず、また、これらに対する技術サポートを行うことも等も保証しません。なお、国や地域によっては強行法規によってかかる保証の否認が認められないことがありますので、その場合には、かかる保証の否認は適用されないことがあります。また、お客様の権利は、国や地域によっても異なり得ます。

（責任制限）

当社、その他本ソフトウェアの供給者は、お客様が本ソフトウェア及びこれに付随する一切の資料を使用したこと又は使用できなかったことから生じる一切の損害（利益の逸失、ビジネスの中断、情報の消失・毀損などによる損害を含みますが、これらに限定されません）に関しては、たとえ当社が、そのような損害が生じる可能性を知らされていた場合であったとしても、一切責任を負いません。国や地域によっては強行法規によって付随的又は間接損害に対する責任の制限が認められないことがありますので、その場合には、かかる責任制限は適用されないことがあります。なお、いかなる場合においても、本ソフトウェアに関する当社またはその子会社の責任は、お客様が当社またはその子会社に対して支払った金額を超えないものとします。かかる保証の否認や責任制限は、お客様と当社との間の取り決めにおける基本的な要素です。

（準拠法）

本契約は、日本国の法令に準拠し、これに基づいて解釈されるものとします。本契約は、本ソフトウェアの使用について、お客様と当社の取り決めのすべてを記載するものであり、本件に関する従前のあらゆる合意（それが口頭でなされたか文書によりなされたかを問いません）に優先して適用されます。本契約に関連して紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

remixbox を使う

コンピュータ上の remixbox を使うと、本機のエフェクトのパラメーターをお好みの設定にカスタマイズできます。また、サンプリング音源を X-PAD FX セクションに読み込んで使えます。

あらかじめコンピュータ上の remixbox を使ってエフェクトのカスタマイズパラメーターデータとサンプリング音源を用意してください。カスタマイズパラメーターデータとサンプリング音源は SD メモリーカードに保存して本機に読み込ませることができます。また、本機とコンピュータを USB ケーブルで接続して直接読み込むこともできます。

インストールについてのご注意

- remixbox のインストールを途中で中止したときは、以下の手順に沿ってはじめてインストールをやり直してください。
- remixbox をインストールする前に「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。
- remixbox をインストールする前に、コンピュータ上で他に作業中のプログラムがあればすべて終了させてください。
- remixbox は以下の OS に対応しています。

対応 OS

Windows	Windows® 7 Home Premium/Professional/Ultimate	32 ビット版	○
		64 ビット版	○
	Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate (SP2 以降)	32 ビット版	○ ^①
		64 ビット版	×
Intel Mac	Windows® XP Home Edition/Professional (SP3 以降)	32 ビット版	○
		64 ビット版	×
	Mac OS X 10.7	32 ビット版	○
		64 ビット版	○
	Mac OS X 10.6	32 ビット版	○
		64 ビット版	○
	Mac OS X 10.5	32 ビット版	○

① マイクロソフト社が提供する修正プログラムをコンピュータにインストールする必要があります。修正プログラムのインストールはお客様の責任において実施していただけますようお願い申し上げます。

- 1 マイクロソフト社のサポートサイト (<http://support.microsoft.com/>) にアクセスする。
 - 2 そのサイト内の検索ウィンドウで文書番号「2182039」を検索し、修正プログラムを入手する。
- 以下の OS は Microsoft 社によるサポートが終了したため、当社での保証はできません。
 - Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate (SP1 以前)
 - Windows® XP Home Edition/Professional (SP2 以前)

remixbox をインストールする

❖ インストールの手順 (Windows)

remixbox をインストールする前に「インストールについてのご注意」をよくお読みください。

- remixbox をインストール、アンインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログインしてからインストールしてください。

1 remixbox の CD-ROM をコンピュータの CD ドライブに挿入する

CD-ROM のメニューが表示されます。

- CD-ROM を挿入しても CD-ROM のメニューが表示されないときは、[スタート]メニューの[コンピュータ (またはマイコンピュータ)]から CD ドライブを開き [CD_menu.exe] のアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROMのメニューが表示されたら、[remixbox: remixbox をインストールする]を選んでから[開始]をクリックする

- CD-ROMのメニューを終了させるときは、[終了]をクリックしてください。

3 言語選択画面が表示されたら、[日本語]を選んでから[OK]をクリックする

- お客様のコンピュータの環境によっては、複数の言語から表示言語を選べます。

4 使用許諾契約画面が表示されたら、「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意されるときは、[同意します]をクリックする

- 「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意いただけないときは、[キャンセル]をクリックして、インストールを中止してください。

5 画面の指示に従ってremixboxをインストールする

- インストールを途中で中止するときは[キャンセル]をクリックしてください。

❖ インストールの手順 (Mac OS X)

remixboxをインストールする前に「インストールについてのご注意」をよくお読みください。

- remixboxをインストール、アンインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。
コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログインしてからインストールしてください。

1 remixboxのCD-ROMをコンピュータのCDドライブに挿入すると画面上にCDドライブが開くので、[CD_menu.app]のアイコンをダブルクリックする

- CD-ROMを挿入しても画面上にCDドライブが開かないときは、FinderでCDドライブを開いてから[CD_menu.app]のアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROMのメニューが表示されたら、[remixbox: remixbox をインストールする]を選んで[開始]をクリックする

- CD-ROMのメニューを終了させるときは、[終了]をクリックしてください。

3 使用許諾契約画面が表示されたら、[日本語]を選んで「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読んでから[続ける]をクリックする

- お客様のコンピュータの環境によっては、複数の言語から表示言語を選べます。

4 「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意されるときは、[同意する]をクリックする

- 「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意いただけないときは、[同意しない]をクリックして、インストールを中止してください。

5 画面の指示に従ってremixboxをインストールする

remixbox を起動する / 取扱説明書を参照する

コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログイン（またはログオン）してからremixboxをお使いください。
remixboxを起動し、remixboxの[Help]メニューから[Manual]をクリックすると取扱説明書をご覧になれます。

❖ Windows® 7、Windows Vista® および Windows® XP のとき

Windowsの[スタート]メニューから、[すべてのプログラム] > [Pioneer] > [remixbox 1.x.x] > [remixbox 1.x.x]をクリックする

- 1.x.xはremixboxのバージョンを示します。

❖ Mac OS X のとき

Finderで[アプリケーション]フォルダを開いてから[remixbox 1.x.x.app]をダブルクリックする

- 1.x.xはremixboxのバージョンを示します。

本機とコンピュータを接続する

1 本機背面の[ON, STANDBY]スイッチを[ON]の位置にスライドさせる

本機の電源をオンにします。

2 本機とコンピュータをUSBケーブルで接続する

- USB2.0に対応していないコンピュータでは動作しません。
- Windows XPをお使いのとき、他のUSB-MIDIデバイスと同時にコンピュータに接続すると、正常に動作および認識されないことがあります。コンピュータと本機だけを接続してください。
- 本機とコンピュータは付属のUSBケーブルで直接接続してください。

付属ソフトウェアの最新情報を確認する

本機の付属ソフトウェアおよびOS対応状況など最新情報については、下記ホームページを参照してください。

<http://pioneerdj.com/support/>

- 1台のコンピュータに本機を複数台接続したときは、動作を保証できません。

MIDI アサインマップ

- CC は、コントロールチェンジの省略形です。コントロールチェンジは、音質や音量などさまざまな制御情報を伝えるために使われる MIDI 信号の一種です。
- Note は、ピアノやキーボードなどの鍵盤を押したり放したりするときに用いる MIDI 用語です。
本機では、ツマミや **[X-PAD]** を操作したときに 0 から 127 の値を CC として出力します。また、ボタンやスイッチを操作したときに 0 または 127 の値を Note として出力します。

カテゴリー	SW 名	SW の種類	MIDI メッセージ	MIDI ボタンタイプ トリガー / トグル	備考
LEVEL	OUTPUT LEVEL ツマミ	VR	CC 000	—	0 ~ 127
BPM/QUANTIZE	QUANTIZE ボタン	BTN	Note 000	○	OFF=0, ON=127
	AUTO ボタン	BTN	Note 001	○	OFF=0, ON=127
	TAP ボタン	BTN	Note 002	トリガーのみ	OFF=0, ON=127
	NUDGE(-) ボタン	BTN	Note 003	トリガーのみ	OFF=0, ON=127
	NUDGE(+) ボタン	BTN	Note 004	トリガーのみ	OFF=0, ON=127
FX SOURCE	INPUT ボタン	BTN	Note 005	○	OFF=0, ON=127
	X-PAD ボタン	BTN	Note 006	○	OFF=0, ON=127
ISOLATE FX	LOW ツマミ	VR	CC 001	—	0 ~ 127
	MID ツマミ	VR	CC 002	—	0 ~ 127
	HI ツマミ	VR	CC 003	—	0 ~ 127
	ISOLATOR ボタン	BTN	Note 007	○	OFF=0, ON=127
	CUT/ADD ボタン	BTN	Note 008	○	OFF=0, ON=127
	TRANS/ROLL ボタン	BTN	Note 009	○	OFF=0, ON=127
	GATE/DRIVE ボタン	BTN	Note 010	○	OFF=0, ON=127
X-PAD FX	BANK ボタン	BTN	Note 011	トリガーのみ	OFF=0, ON=127
	ROLL ボタン	BTN	Note 012	トリガーのみ	OFF=0, ON=127
	KICK ボタン	BTN	Note 013	トリガーのみ	OFF=0, ON=127
	SNARE ボタン	BTN	Note 014	トリガーのみ	OFF=0, ON=127
	CLAP ボタン	BTN	Note 015	トリガーのみ	OFF=0, ON=127
	HI HAT ボタン	BTN	Note 016	トリガーのみ	OFF=0, ON=127
	OVERDUB (DELETE) ボタン	BTN	Note 017	トグルのみ	OFF=0, ON=127
	HOLD (MUTE) ボタン	BTN	Note 018	トグルのみ	OFF=0, ON=127
	X-PAD LEVEL ツマミ	VR	CC 004	—	0 ~ 127
	PITCH ツマミ	VR	CC 005	—	0 ~ 127
	X-PAD (ポジション)	VR	CC 006	—	0 ~ 127 [X-PAD] の位置情報を送信します。
	X-PAD (タッチ)	BTN	Note 019	トリガーのみ	OFF (タッチしていないとき)=0, ON (タッチしているとき)=127
SCENE FX	SCENE FX ツマミ	VR	CC 007	—	0 ~ 127
	SUB PARAMETER 1 ツマミ	VR	CC 008	—	0 ~ 127
	SUB PARAMETER 2 ツマミ	VR	CC 009	—	0 ~ 127
	BPF ECHO ボタン	BTN	Note 020	○	OFF=0, ON=127
	ECHO ボタン	BTN	Note 021	○	OFF=0, ON=127
	NOISE ボタン	BTN	Note 022	○	OFF=0, ON=127
	SPIRAL UP ボタン	BTN	Note 023	○	OFF=0, ON=127
	REVERB UP ボタン	BTN	Note 024	○	OFF=0, ON=127
	HPF ECHO ボタン	BTN	Note 025	○	OFF=0, ON=127
	LPF ECHO ボタン	BTN	Note 026	○	OFF=0, ON=127
	CRUSH ECHO ボタン	BTN	Note 027	○	OFF=0, ON=127
	SPIRAL DOWN ボタン	BTN	Note 028	○	OFF=0, ON=127
	REVERB DOWN ボタン	BTN	Note 029	○	OFF=0, ON=127
RELEASE FX	RELEASE FX 切換スイッチ 1 (VINYL BRAKE)	SW	Note 030	トリガーのみ ^[1]	OFF=0, ON=127
	RELEASE FX 切換スイッチ 2 (ECHO)	SW	Note 031	トリガーのみ ^[1]	OFF=0, ON=127
	RELEASE FX 切換スイッチ 3 (BACK SPIN)	SW	Note 032	トリガーのみ ^[1]	OFF=0, ON=127
	RELEASE FX レバー	VR	CC 010	—	0 ~ 127
FX SETTING	SETTING 切換スイッチ 1 (DEFAULT)	SW	Note 033	トリガーのみ ^[1]	OFF=0, ON=127
	SETTING 切換スイッチ 2 (USER)	SW	Note 034	トリガーのみ ^[1]	OFF=0, ON=127

カテゴリー	SW 名	SW の種類	MIDI メッセージ	MIDI ボタンタイプ トリガー / トグル	備考
プラグインコントロール	OVERDUB (DELETE) ボタン+ ROLL ボタン	BTN	Note 035	トリガーのみ	OFF=0, ON=127
	OVERDUB (DELETE) ボタン+ KICK ボタン	BTN	Note 036	トリガーのみ	OFF=0, ON=127
	OVERDUB (DELETE) ボタン+ SNARE ボタン	BTN	Note 037	トリガーのみ	OFF=0, ON=127
	OVERDUB (DELETE) ボタン+ CLAP ボタン	BTN	Note 038	トリガーのみ	OFF=0, ON=127
	OVERDUB (DELETE) ボタン+ HI HAT ボタン	BTN	Note 039	トリガーのみ	OFF=0, ON=127
	OVERDUB (DELETE) ボタン+ X-PAD (タッチ)	BTN	Note 040	トリガーのみ	OFF=0, ON=127
	HOLD (MUTE) ボタン+ ROLL ボタン	BTN	Note 041	トリガーのみ	OFF=0, ON=127
	HOLD (MUTE) ボタン+ KICK ボタン	BTN	Note 042	トリガーのみ	OFF=0, ON=127
	HOLD (MUTE) ボタン+ SNARE ボタン	BTN	Note 043	トリガーのみ	OFF=0, ON=127
	HOLD (MUTE) ボタン+ CLAP ボタン	BTN	Note 044	トリガーのみ	OFF=0, ON=127
	HOLD (MUTE) ボタン+ HI HAT ボタン	BTN	Note 045	トリガーのみ	OFF=0, ON=127
	HOLD (MUTE) ボタン+ X-PAD (タッチ)	BTN	Note 046	トリガーのみ	OFF=0, ON=127

- ① [RELEASE FX] 切換スイッチと [SETTING] 切換スイッチをスライドさせたとき、切り換え前のスイッチからは OFF を、切り換え後のスイッチからは ON を、それぞれ送信します。

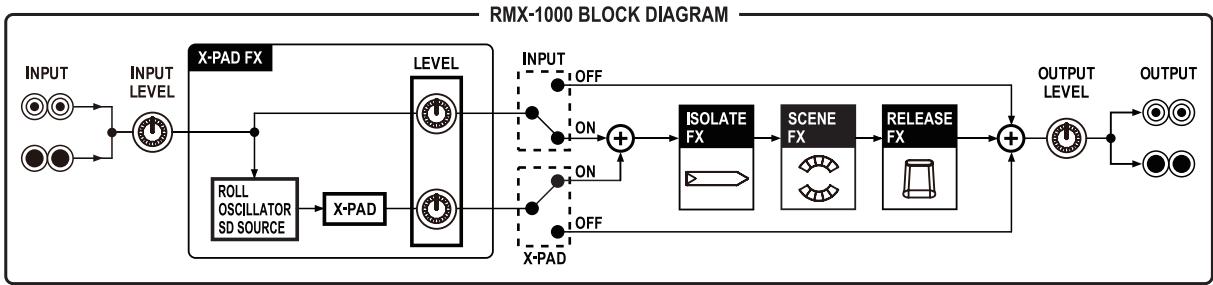
その他

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目を確認してください。また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、25ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常に動作することがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
電源が入らない。	付属の電源コードと AC アダプターが正しく接続されていますか？	付属の電源コードをコンセントに正しく接続してください。 付属の AC アダプターに電源コードを正しく取り付けてください。(7ページ) 付属の AC アダプターの DC プラグを本機に正しく接続してください。
	電源の [ON, STANDBY] スイッチは [ON] になっていますか？	電源の [ON, STANDBY] スイッチを [ON] にしてください。
音が出ない、または音が小さい。	接続ケーブルが正しく接続されていますか？	接続ケーブルを正しく接続してください。(7ページ)
	端子やプラグが汚れていませんか？	端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。
	本機背面の [CONNECTION] 切換スイッチが正しく設定されていますか？	接続している機器に合わせて [CONNECTION] 切換スイッチを切り換えてください。(11ページ)
音が歪む。	[OUTPUT] 端子から出力されている音声レベルは適切に設定されていますか？	[OUTPUT] レベルインジケーターの [0 dB] 付近がピークレベルで点灯するように [OUTPUT LEVEL] ツマミを調整してください。(11ページ)
	[INPUT] 端子に入力されている音声レベルは適切に設定されていますか？	[INPUT] レベルインジケーターの [0 dB] 付近がピークレベルで点灯するように [INPUT LEVEL] ツマミを調整してください。(11ページ)
テンポ (BPM) が測定できない、またはテンポ (BPM) の測定値がおかしい。	音声入力レベルが高すぎませんか？ または音声入力レベルが低すぎませんか？	[INPUT] レベルインジケーターの [0 dB] 付近がピークレベルで点灯するように [INPUT LEVEL] ツマミを調整してください。(11ページ) 曲によってはテンポ (BPM) が測定できない場合があります。[TAP] ボタンを使って手動でテンポを入力してください。(12ページ)
測定したテンポ (BPM) の値が CD の記載値と異なる。または、DJ プレーヤー、DJ ミキサー、DJ ソフトウェアおよび本機に表示されるテンポ (BPM) の値がそれぞれ異なる。	—	BPM の測定法が違いため、多少異なった値を示すことがあります。
コンピュータに接続しても本機が認識されない。	付属の USB ケーブルが正しく接続されていますか？	USB ハブを経由せずに、本機とコンピュータを直接接続してください。
SD メモリーカードが認識されない。	SD メモリーカードが正しく挿入されていますか？	SD メモリーカードを奥までしっかり差し込んでください。(13ページ) SD メモリーカードには表裏の向きがあります。正しい向きでカードを差し込んでください。
	本機で使える SD メモリーカードですか？	本機で使える SD メモリーカードの種類は、SD メモリーカードまたは SDHC メモリーカードです。ただし、カードによっては使えないことがあります。
SD メモリーカードの読み込みに時間がかかる。	SD メモリーカードに大量のフォルダまたはファイルを記録していませんか？	フォルダやファイルの数が多いときは、読み込みに時間がかかることがあります。
	SD メモリーカードに設定ファイルやサンプラーデータ以外のファイルを保存していませんか？	設定ファイルやサンプラーデータ以外のファイルがフォルダ内にあるときは読み込みに時間がかかります。設定ファイルやサンプラーデータ以外のファイルは、フォルダに入れないでください。
エフェクト音がかからない。	[INPUT] ボタンまたは [X-PAD] ボタンが点灯していますか？	[INPUT] ボタンまたは [X-PAD] ボタンを押してください。(14ページ)
ISOLATE FX が効かない。	[ISOLATE FX] ツマミを適切な位置に設定していますか？	[ISOLATE FX] ツマミを左右に回してください。(12ページ)
X-PAD FX が効かない。	[X-PAD LEVEL] ツマミを適切な位置に設定していますか？	[X-PAD LEVEL] ツマミを右に回してください。(13ページ)
SCENE FX が効かない。	[SCENE FX] ツマミを適切な位置に設定していますか？	[SCENE FX] ツマミを右に回してください。(12ページ)
MIDI シーケンサーが同期しない。	MIDI シーケンサーのシンクモードはスリープに設定されていますか？	MIDI シーケンサーのシンクモードをスリープに設定してください。
	お使いの MIDI シーケンサーは MIDI タイミングクロックに対応していますか？	MIDI タイミングクロックに対応していない MIDI シーケンサーは同期できません。
MIDI コントロールできない。	MIDI 設定が正しく設定されていますか？	本機で DJ ソフトウェアを操作するときは、本機の MIDI メッセージをお使いの DJ ソフトウェアにアサインする必要があります。アサイン方法については、お使いの DJ ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

ブロックダイアグラム



保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談

裏表紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

本書の 24 ページの「故障かな？と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：REMIX STATION
- 型番：RMX-1000
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作で、どうなる」といった詳細

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

商標および登録商標について

- Pioneer はパイオニア株式会社の登録商標です。
 - Microsoft®、Windows Vista®, Windows®, Internet Explorer® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - Apple、Macintosh、Mac OS、Safari、iTunes、および Finder は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
 - Intel および Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
 - VST は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。
 - Audio Units ロゴは Apple Inc. の商標です。
- その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされております。営利的目的での（収益の発生するような）、実際の放送（地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送）、インターネットやイントラネット（企業内ネット）あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム（音楽の有料配信など）のためにはライセンスされておりません。このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは <http://www.mp3licensing.com> をご参照ください。

著作権についてのご注意

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用する上でのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用する上でのすべての責任を負います。

免責事項について

お客様が付属ソフトウェアを使用するにあたっての合法性や道徳性、動作の確実性などについて当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。お客様がお使いになっているコンピュータおよび付属ソフトウェアの動作環境、他のソフトウェアとの組合せによっては、付属ソフトウェアの動作に不具合が発生することがあります。万一、お客様が付属ソフトウェアを使用して登録した情報が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。お客様が登録した内容は、別にメモを取るなどして保管してください。

仕様

AC アダプター

電源	AC 100 V ~ 240 V、50 Hz/60 Hz
定格電流	0.4 A
定格出力	DC 5 V、2 A

本体一般

消費電流	1.4 A
本体質量	1.3 kg
最大外形寸法	334 mm (幅) × 57 mm (高さ) × 157 mm (奥行)
許容動作温度	+ 5 °C ~ + 35 °C
許容動作湿度	5 % ~ 85 % (結露のないこと)

オーディオ部

サンプリングレート	48 kHz
A/D、D/A コンバーター	24 bits
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz
S/N 比 (定格出力時)	
CONNECTION SEND/RETURN (-10 dB) 時	102 dB
CONNECTION MASTER (+4 dB) 時	98 dB
全高調波歪率	0.005 %
ヘッドルーム	20 dB
入力レベル / 入力インピーダンス	
CONNECTION SEND/RETURN (-10 dB) 時	- 10 dBV/22 k Ω 以上
CONNECTION MASTER (+4 dB) 時	+ 4 dBu/22 k Ω 以上
出力レベル / 負荷インピーダンス / 出力インピーダンス	
CONNECTION SEND/RETURN (-10 dB) 時	- 10 dBV/10 k Ω /1 k Ω 以下
CONNECTION MASTER (+4 dB) 時	+ 4 dBu/10 k Ω /1 k Ω 以下

入力 / 出力端子

INPUT 端子

RCA ピンジャック	1 系統
フোনジャック (Ø 6.3 mm)	1 系統

OUTPUT 端子

RCA ピンジャック	1 系統
フोनジャック (Ø 6.3 mm)	1 系統

USB 端子

B タイプ	1 系統
-------------	------

- 本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載されているソフトウェア画面は開発中のものです。実際の画面と異なることがあります。

＜各窓口へのお問い合わせの時のご注意＞

「0120」で始まる  フリーコールおよび  フリーコールは、携帯電話・PHS・一部のI P電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・I P電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

ご相談窓口のご案内

※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

- 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間 月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■家庭用オーディオ/ビジュアル商品  0120-944-222 一般電話 044-572-8102

■ファックス 044-572-8103

■インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

- お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付窓口

受付時間 月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話  0120-5-81028 ^{ユニバーシア} 一般電話 044-572-8100

■ファックス  0120-5-81029

■インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair/>

※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております

沖縄サービス認定店（沖縄県のみ）

受付時間 月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話 098-987-1120

■ファックス 098-987-1121

部品のご購入についてのご相談窓口

- 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話  0120-5-81095 一般電話 044-572-8107

■ファックス  0120-5-81096

平成24年1月現在 記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.048

© 2012 パイオニア株式会社 禁無断転載

パイオニア株式会社

〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

<DRA1466-A>

